

# 教育研究所だより

守山市教育研究所発行

平成29年1月26日 No.202 所長 奥西 光彦  
守山市勝部三丁目9番1号 (守山市生涯学習・教育支援センター 愛称:エルセンター3・4階)  
E-mail kyoikukenkyl@city.moriyama.lg.jp Tel 077-583-4217 Fax 077-583-4237  
H P http://www2.city.moriyama.lg.jp/moriyama-kyoikukenkyl/

## 自転車を生かしたまちづくり

市役所 地域振興・交通政策課 坪内稔夫

『ピワイチ』とは、琵琶湖一周サイクリングのことです。ゆったりと仲間同士や家族、親子でサイクリングを楽しみながら、風光明媚な琵琶湖を風や自然を体感し、生涯の思い出に残る達成感を味わえる魅力もあって、近年、健康志向と共に、人気の高まりを見せています。

守山市は、いち早く『ピワイチ』をまちづくりに生かす取り組みを開始しました。平成27年10月に策定した地方創生総合戦略の柱の一つに「自転車を軸とした観光振興」をかかげ、守山を『ピワイチ』の拠点にと、さまざまな取り組みを始めています。



昨年(平成28年)3月には、台湾に本社を置く世界最大の自転車メーカー、ジャイアント社の店舗を誘致し、レンタサイクルも利用できる新しい拠点が誕生しました。5月には、そのジャイアント社から劉(りゅう)会長が来市され、『ピワイチ』の一部を体験されたことにより、全国や世界に『ピワイチ』が発信されました。

さらに一般のサイクリストに向けた取り組みも進めています。全国でも極めて珍しい自転車購入への補助金制度の実施をはじめ、自転車を船に乗せる漁船タクシーやバス会社と提携し自転車を乗せるバス運行の社会実験のほか、自転車を乗せて移動できるタクシーの運行も始まっています。守山市の地の利を活かし、守山市における観光客の消費、観光事業者の民間投資を積極的に呼び込み、地方創生、滋賀県経済の活性化につなげることを目指し取り組んでいます。

「気軽に手軽に!!」を合言葉に、自転車を生かしたまちづくりを推進する中、サイクリストも増えました。ただ、懸念するポイントもあります。それは、安全性とマナーです。実際にサイクリングを楽しんでいると、車が自転車のすぐ近くを走ることがあります。安全な道の整備やマナーの向上も、『ピワイチ』だけに県内の自治体が手を取り合って進めていかなければならないと考えています。

自転車に乗るときのマナーの向上を含め自転車のまちづくりを推進するため、愛好家・企業・行政が一体となって、「びわ湖守山・自転車新文化推進協議会」が昨年6月に立ち上がり、自転車の安全な乗り方教室やツアーガイド養成をはじめ、毎月のサイクリングツアーや市内にスタンプラリーを設置しながらサイクリングを楽しむ交流イベント等積極的な取組が展開されています。

安全で安心してサイクリングを楽しんでいただくためにも、ぜひ、サイクリングツアーに参加されることをお勧めします。ツアーの中で手信号やマナー等、さまざまなルールを学んでいただき、その後、個人や気の合う仲間、ご家族、親子で楽しんでいただければと思います。引き続き安全対策とおもてなしの両輪で、『ピワイチ』をはじめとした自転車を生かしたまちづくりを盛り上げたいと考えております。

## 不登校や子育てなどの悩みをもつ方へ

### 教育相談

守山市教育研究所（エルセンター3、4F）では教育相談を行っています。

#### ○面接相談や電話相談

- ・不登校や子育てなどの悩みをもつ保護者への面接、電話相談
- ・教員への相談活動
- ・月曜日から金曜日の全日（午前9時から午後5時まで）

速野公民館でも行っています

日時 毎月2・4木曜日 10:00～15:00

お申し込みは前日までに守山市教育研究所までお電話ください。

守山市教育研究所 教育相談電話 TEL 077-583-4237

## 守山市教育研究発表大会のお知らせ

1. 日 時 平成29年2月8日（水）13:45 から 16:50 まで（受付は13:30 から）
  2. 場 所 守山市民ホール 小ホール
  3. 対 象 約300人  
一般市民、市内保・幼・こども園・小・中・高等学校の教職員ならびに市内教育関係諸  
機関職員
- (2) 市内教育関係諸機関職員、市民など
4. 内 容
- |                 |  |               |
|-----------------|--|---------------|
| (1) 受 付         |  | 13:30～13:45   |
| (2) 開会行事        | あいさつ<br>教育長<br>所長                        | 13:45～13:55   |
| (3) 中学生海外研修報告   |  | 13:55～14:15   |
| (4) 学力学習状況調査の考察 |  | 14:15～14:30   |
|                 | 全国学力学習状況調査の結果を踏まえた学力向上の取り組み              |               |
| (5) 教育研究発表      |  | 14:30～15:20   |
| ①教育に関わる調査研究     |  | (14:30～14:55) |
|                 | 「子どもが安心して活動できる教師の働きかけー教師の声掛け変換表を通してー」    |               |
| ②指導力向上に関する研究    |  | (14:55～15:20) |
|                 | 「算数・数学科におけるアクティブ・ラーニングやICTを活用した授業の実践」    |               |
|                 | 休 憩                                      |               |
| (6) 教育講演会       |  | 15:30～16:40   |
| 講 師             | 國森 康弘 氏 (写真家・ジャーナリスト)                    |               |
| 演 題             | 「ファインダー越しのいのちの授業」<br>ーあたたかな看取りの現場に想うー    |               |
| 講演内容            | 命の大切さや人としての生き方など写真家・ジャーナリス<br>トの立場からの講演。 |               |
| (7) 閉会行事        | あいさつ<所長補佐>                               | 16:40～16:50   |

### 5. 講師について

#### <プロフィール>

1974年生。京都大経済学研究科修士課程修了、英カーディフ大ジャーナリズム学部修士課程修了。写真絵本『いのちつぐ「みとりびと」』（農文協、現8巻）で2012年度けんぶち絵本の里大賞など受賞多数。『家族を看取る』（平凡社）、『アンネのバラ～40年間つないできた平和のバトン』（講談社）、『3・11メルトダウン』（凱風社、共著）、『子ども・平和・未来21世紀の紛争』（岩崎書店、共著全5巻）など著書多数。命の有限性と継承性がテーマ。

